

背景 課題

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向け、**文化芸術団体等の整備充実、指導者の確保、参加費用負担への支援等について、総合的に推進。**





芸術に親しむ機会 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちが文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。	学校教育の質 学校の働き方改革を推進し、 学校教育の質も向上。	新しい価値の創出 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、 新しい価値の創出。	多様な体験機会 地域の持続可能で多様な文化芸術環境を一体的に整備し、 子供たちの多様な体験機会を確保。
--	--	--	--

事業内容

I. 文化庁活動の地域移行に向けた支援 (1,144百万円)

部活動改革体制整備事業

- ① コーディネーター配置支援**

 ・各中学校区レベルで、指導者の派遣管理、学校や文化施設との連絡調整・安全管理等を行う者を配置する。
- ② 運営団体・実施主体の整備充実**
 ・地域文化倶楽部活動の運営団体・実施主体の整備充実のため、持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保に係る取組等を支援する。
- ③ 文化庁活動指導者配置支援等**
 ・休日の地域活動において、子供たちを指導する者を配置する。
 ・指導者の質・量を確保し、子供たちが安全・安心に地域活動を実施できるよう、指導者養成のための講習等を開催する。
- ④ 参加費用負担への支援**

 ・経済的に困窮する世帯の子供が地域活動に参加できるよう、地域移行に伴い新たに必要となる会費等について支援を行う。

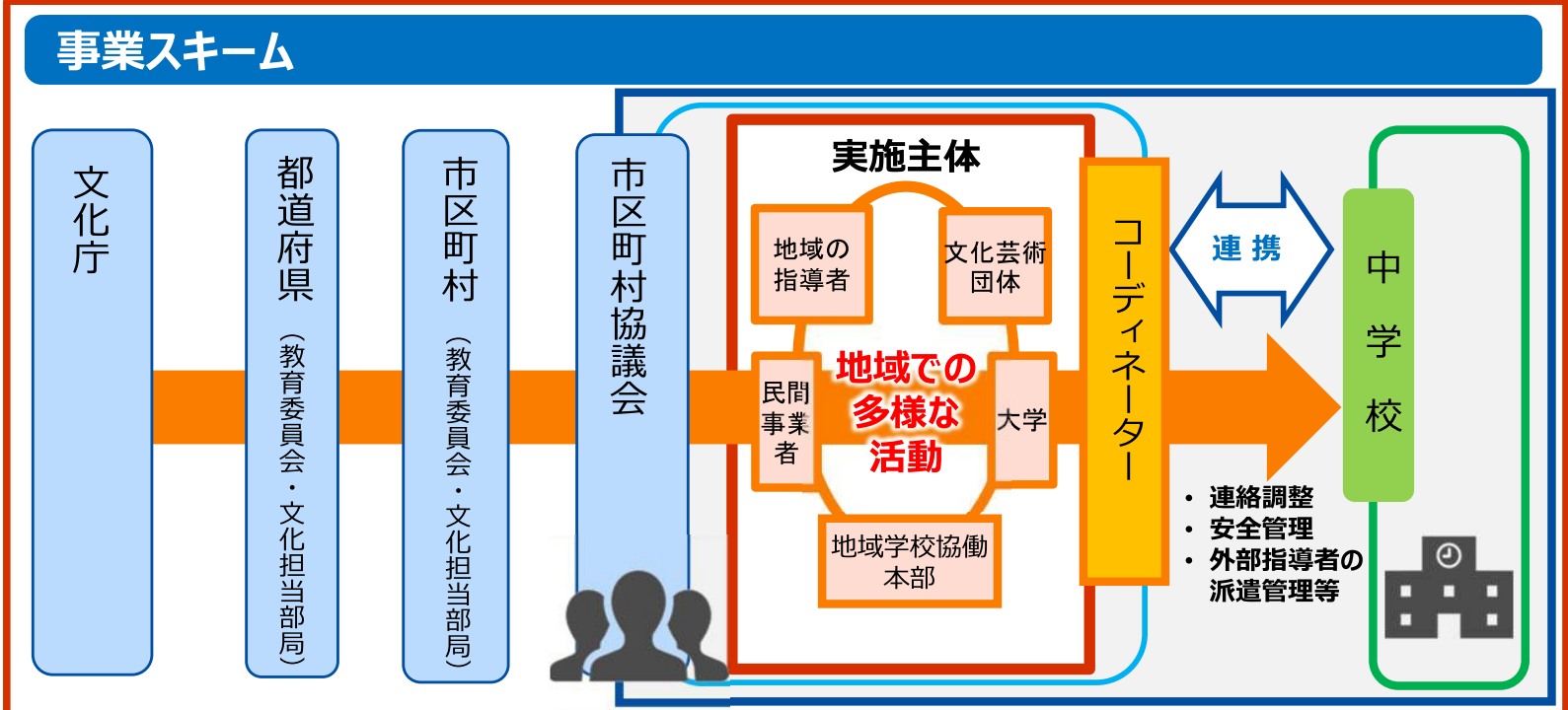
II. 地域文化倶楽部支援事業 (77百万円)

文化庁活動のうち、休日の活動日数・時間が多吹奏楽部等に対して、子供たちが身近な地域で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、全国的な規模の文化芸術団体等が中心となり、指導者の質・量の確保、活動場所の確保などの課題への対応を行う。

※対象：吹奏楽部等活動団体：3団体程度
 ※関連：伝統文化親子教室事業

III. 中学校における部活動指導員の配置支援事業 (336百万円)

教師に代わる部活動指導や大会引率、生徒のニーズを踏まえた充実した活動を推進する部活動指導員配置に対する支援を行う。



※本資料における「文化芸術」には障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む。

<h3>アウトプット (活動目標)</h3> <p>(地域移行に向けた改革集中期間) (検証、再改革期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 4,500件移行 令和6年度 9,000件移行 令和7年度 15,000件移行 令和8年度～ 	<h3>アウトカム (成果目標)</h3> <ul style="list-style-type: none"> 教員の部活動指導にかかる負担軽減 部活動に代わりうる多様な文化芸術活動の創出 学校に閉じない多様な人間関係の構築 	<h3>インパクト (国民・社会への影響)</h3> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育の質の向上 地域の文化芸術活動の活性化 豊かな人間形成の促進
---	--	---